

令和7年度 泥亀地域ケアプラザPDCAシート_公表用 (事業計画書、事業報告書、事業実績評価)

— 総括表 —

◆ 事業計画

地域の現状と今後の方向性

担当地域は人々が多く行きかう駅前の商店街や住宅地、大規模マンション等があり、多種多様な世代、世帯構成が共存しています。また、歴史的・文化的にも由緒ある場所です。3つの連合町内会・地区社会福祉協議会があり活動も活発ですが、中心的役割を担う後継者育成が課題となっています。引き続き、担当する3つの地区の地域活動に6職種で積極的に参加し、ケアプラザの事業等で好評であったプログラム等の講師の紹介・調整などを行い、地域住民が無理なく活動を続けていける支援を継続したいと考えます。また、閉じこもりの方、認知症の方、ヤングケアラー、ダブルケアラーなど支援を必要とする方の早期発見も課題です。それらを解決していくには、担当エリアの諸機関と情報共有できる関係構築が重要であり、積極的に向き、顔と顔が見えるネットワークの構築を大切にしていきます。そして、区域計画・地区別計画の推進に向け、地域支援チームの一員として地域で生まれるインフォーマルサービスや介護予防への取組等を支援・周知していきます。

今年度の重点的な取組

新規	継続	— 具体的な取組内容 —
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	チームオレンジの取り組みをスタート。地域住民や企業、商店、事業所等に向けてチームオレンジの理念について知っていただけるよう、認知症サポーター養成講座などの取り組みを行います。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	「買い物を通じた交流 見守りの場づくり」において、区内で同様の取り組みを行っている団体等と情報交換を実施。互いのノウハウを共有し、より多くの住民が参加いただける場になるよう支援します。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	地域支援を行う中で、担い手や支援者の後継者不足や負担軽減が叫ばれています。現在の地域支援者に負担が重ならないように、地域活動支援者の支援を行うと同時に、新たなプレーヤーの発掘・育成を共に行います。ケアプラザ事業等で好評であったプログラム等のノウハウや講師情報を地域と共有し、支援者の負担感軽減に努めます。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	いきいきセンター内の各機関や地元の事業所、企業、商店と連携し自治会館等の場に出向いての講座や各種啓発を多世代にむけて開催していきます。

◆ 事業報告・事業実績評価

振り返り

- ・広報紙を全町内会のご協力で、掲示板・回覧板を活用し、住民に見ていただける機会をつくりました。
- ・地域活動に向いた際、チームオレンジの周知や防犯啓発、フレイル予防等の周知や啓発に努めました。
- ・チームオレンジの活動周知や認知症啓発を目的に認知症に関連した講座・講演・カフェ等を20回以上開催しました。
- ・認知症月間となる9月～11月にかけてエリア内の認知症対応型の事業所(4ヶ所)等にも働きかけ、認知症当事者の方の作品展等を開催しました。
- ・「買い物を通じた交流 見守りの場づくり」においては、地域の事業と移動販売業者がコラボし健康チェックや販売の周知、認知症サポーター養成講座等を開催することが出来ました。また、移動販売開催場所の近隣にお住いで見守りの必要な方に包括と協力して定期的に個別訪問を行いました。
- ・サロン活動の支援者へCP事業等で好評であった講師やプログラム等をお伝えし、開催に向けての調整を行いました。
- ・地域ケア会議をきっかけに見守りのチェックシートを作成しました。
- ・地域で行われている事業の参加者やCPの自主事業・共催事業の参加者を、地域で行われる別の活動のボランティア・講師等に結びつけることによって地域活動の担い手づくりにつながりました。
- ・さくら保育園・八景小学校での活動に、高齢者や地域の住民・ボランティアと一緒に多世代で取り組むことができました。
- ・ぼたんちゃんホルダーが包括エリアの高齢者(65歳以上)すべてが対象になる形でスタートでき、登録者が増えました。

区からのコメント

広報紙や地域行事・サロン等を活用した丁寧な周知により、参加機会の拡大と相談先の認知向上が進み、地域の方の不安軽減や介護予防・防犯等の啓発につながっている点が高く評価できます。さらに、区役所・区社協・専門職との顔の見える連携を継続し、定例会での共有とエビデンスに基づく地域アセスメントを次年度の企画に結び付けていることも強みです。

デニーズでの認知症カフェなど新たな企画に挑戦し、工夫された運営により参加者の満足度向上につながっています。

5職種で連携した認知症啓発やケアプラザ全体で虐待対応に取り組んでいただいております。今後も引き続きケアプラザ全体での支援をお願いします。また、見守りチェックシートの作成など、地域課題に基づく実践的な支援が進んだことも大きな成果です。今後も医療・介護・地域住民とのネットワークを強化し、地域全体で見守りと支援が広がる取り組みを期待します。